

仏教学特殊講義Ⅱ（月4限・森雅秀）

レポートの課題

授業では日本のマンダラとして両界曼荼羅、別尊曼荼羅、神道曼荼羅（垂迹曼荼羅）、浄土教の曼荼羅、社寺参詣曼荼羅をとりあげました。その中で、日本では特定の仏教絵画にたいして「曼荼羅」という名称を与えることが好まれ、さまざまな日本独自の曼荼羅が生まれたことと、それと平行して、これらの曼荼羅が本来の密教の曼荼羅とはかけはなれたものになっていったことを紹介しました。レポートでは授業の全体の流れを前半でまとめ、後半では「なぜ日本では密教本来の曼荼羅から遠ざかっていったか」について、考察してください。

私の解釈や考え方にとらわれず、皆さんの斬新な見方を期待しています。

分量：2,000字（原稿用紙5枚分）

期日：4年生とM2年生は2月7日（水） それ以外は2月14日（水）

提出先：mmori@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

注意

- ・原則としてメールで提出してください。その場合、レポート本文はワード（Microsoft, Word）のファイルで作成し、添付してください。
- ・ファイル名は学籍番号（半角）名前（漢字等）.doc、メールの件名は「マンダラ（名前）」（例・マンダラ角間太郎）にしてください。ワード以外のワープロ・ソフトを使用する場合、テキスト・ファイルにして送るよう。
- ・レポートを受け取った返信を必ず送ります。提出して48時間以上たっても返信がない場合、もう一度送信してください。

※メール提出が困難な場合、締め切り期日までに直接、森研究室（文学部棟3階313）まで持ってきてください。